

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

Cat.No. : 5 1 3 1 3 0  
製品名 : Silica No.1  
会社名 : セントラル科学株式会社  
住所 : 〒104-0053 東京都中央区晴海 2-1-40 晴海プライムスクエア  
担当部門 : 技術サポート部  
電話番号 : (03) 3812-9186  
FAX 番号 : (03) 3814-7538

## 2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 健康有害性 皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2  
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 : 区分 2A  
環境有害性 水生毒性 (急性) : 区分 3  
水生毒性 (慢性) : 区分 3

GHS ラベル要素 :



危険有害性情報 : 皮膚刺激  
重篤な眼への刺激性  
水生生物に有害  
長期的影響により水生生物に有害

注意書き :

<安全対策>

適切な保護手袋および保護眼鏡、保護面を着用すること。

環境への放出を避けること。

取扱い後はよく手を洗うこと。

<応急措置>

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。

皮膚（又は毛）に付着した場合は：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除くこと。付着部は多量の流水/シャワーで洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断／手当を受けること。

<廃棄>

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名	含有量	化学式	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
スルファミン酸	25~35%	HOSO <sub>2</sub> NH <sub>2</sub>	1-402	5329-14-6

## 4. 応急処置

吸入した場合 : 新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。症状が出た場合は医師の手当を受ける。

- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類を全て脱ぐ/取り除き、直ちに付着部を多量の水と石けんで洗い流す。
- 眼に入った場合： 直ちに多量の流水で 15 分以上洗い流す。きれいな指で瞼を開いて洗い流す。直ちに医師の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合： よく口をすすぎ、コップ 1, 2 杯の水を飲ませる。医師の手当を受ける。
- 重要な徴候： 刺激性、咳、呼吸困難、痛み

## 5. 火災時の措置

- 消火剤： 周囲の状況に適した消火剤を使用する。
- 火災時特有の危険有害性： 本製品は不燃性である。  
火災時に有害なガスが発生するため、消火の際には適切な保護具を着用する（窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）、一酸化炭素（CO）、二酸化硫黄（SO<sub>2</sub>）、窒素ガス、硫黄酸化物（SO<sub>x</sub>）、アンモニア（NH<sub>3</sub>））。
- 特定の消火方法： 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合は周辺に散水して冷却する。
- 消火を行う者の保護： 消火活動は風上から行い、有害なガス又はミストの吸入を避ける。適切な保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： 作業の際は適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、蒸気を吸入しないようにする。関係者以外の立ち入りを禁止する。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。風上から作業して、風下の人を退避させる。
- 環境に対する注意事項： 流出した製品が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。汚染された排液が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材： 飛散したものは掃き集めて空容器に回収する。飛散した場所は大量の水で十分に洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策： 取扱いは換気の良い場所で行う。局所排気施設内で使用する。使用の際は適切な保護具を着用する。取扱い後は手を洗淨する。
- 注意事項： 開封や取扱う際に粗暴な扱いをしない。皮膚に付いたり、蒸気を吸入しないように適切な保護具を着用する。漏れ、溢れ、飛散等しないようにし、みだりに蒸気、エアロゾルを発生させない。使用中に飲食、喫煙をしてはならない。使用後は容器を密閉する。取扱い後は手を洗淨する。
- 接触回避： アルカリ、酸、金属、ハロゲン化合物、硝酸塩、塩素、酸化剤
- 安全取扱い注意事項： 吸入したり、目、皮膚および衣服に触れないように適切な保護具を着用する。使用の際は適切な換気を行う。

### 保管

- 適切な保管条件： 水、金属から遠ざける。  
高温、直射日光、湿気、水分を避ける。  
密閉してなるべく涼しい乾燥した暗所で保管する（20±5°C）。

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策： 局所排気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに洗眼施設及び身体洗淨施設を設置する。
- 管理濃度： 設定されていない

## 許容濃度

OSHA PEL :	設定されていない
ACGIH TLV (s) :	設定されていない
日本産業衛生学会 :	設定されていない

## 保護具

呼吸器の保護具 :	防塵マスク
手の保護具 :	保護手袋
目の保護具 :	ゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具 :	保護衣

## 9. 物理的及び化学的性質

物理的状态・形状 :	固体・粒状
色 :	白色
臭い :	無臭
pH :	1.6@20°C (10.5g/L)
融点 :	データなし
沸点 (初留点)	データなし
引火点 :	適用なし
燃焼性 :	不燃性
燃焼又は爆発範囲 (上限・下限) :	不燃性
蒸気圧 :	データなし
比重 :	2g/cm <sup>3</sup>
溶解性 :	水に可溶

## 10. 安定性及び反応性

安定性 :	安定。
危険有害反応可能性 :	水と反応する。金属を腐食する。水溶液中で金属と反応して水素を発生する。水溶液は酸と反応する。
避けるべき条件 :	加熱
混触危険物質 :	アルカリ、酸、金属、ハロゲン化合物、硝酸塩、塩素、酸化剤
危険有害な分解生成物 :	窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> )、一酸化炭素 (CO)、二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )、窒素ガス、硫黄酸化物 (SO <sub>x</sub> )、アンモニア (NH <sub>3</sub> )

## 11. 有害性情報

製剤についてのデータは無い。

急性毒性 :	スルファミン酸について 経口 ラット LD50=>2000mg/L、3160mg/L、2065mg/L、 1450mg/L
皮膚腐食性・刺激性 :	スルファミン酸について ウサギを用いた試験 (OECD TG404 : GLP 準拠) で刺激性あり (irritating) の結果 (IUCLID(2000))、さらに別のウサギを用いた複数の試験では刺激性なし (not irritating) ~ 重度の刺激性 (high irritating) の結果 (IUCLID(2000)) が得られている。EU 分類では、Xi;R36/38 に分類されている。なお、1% 溶液の pH が 1.18 との情報 (Merck(14th,2006)) もある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性 :	スルファミン酸について ウサギを用いた試験 (OCED TG405 : GLP 準拠) で刺激性あり (irritating) の結果 (IUCLID(2000))、さらに別のウサギを用いた複数の試験では中等度の刺激性 (moderately irritating) ~ 重度の刺激性 (high irritating) の結果

(IUCLID(2000)) が得られている。EU 分類では、Xi;R36/38 に分類されている。なお、1%溶液の pH が 1.18 との情報 (Merck(14th,2006)) もある。

生殖細胞変異原性：	スルファミン酸について マウスに経口投与による赤血球を用いた小核試験 (OCED TG474 : GLP 準拠) (体細胞 in vivo 変異原性試験) において陰性 (IUCLID(2000)) の結果が得られた。なお、in vitro 試験では、Ames 試験の陰性結果の報告がある (IUCLID(2000))。
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし
特定標的臓器・全身毒性 (反復暴露)：	スルファミン酸について ラットを用いた 90 日間混餌投与試験 (OECD TG408 : GLP) において、高用量の 20000ppm で成長遅延、臓器重量増加、一部の動物では腎尿細管のわずかな脂肪変性以外に影響は認められていない (IUCLID(2000))。また、NOAEL が 10000ppm (500mg/kg bw/day に相当) と報告されている。なお、ヒトで酸性ヒュームの長期曝露により慢性咳を伴う気管支刺激や気管支肺炎がよく起こるとする (DHP(13th,2002)) がある。

## 1 2. 環境影響情報

製剤についてのデータは無い。

生態毒性：	
魚毒性	スルファミン酸について 魚類 (ファットヘッドミノー) における 96 時間 LC50 = 70.3mg/L (ECETOC TR91,2003)
残留性・分解性：	データなし

## 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	多量の水で希釈して、pH を中性に調整した後、下水へ流す。 廃棄前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
汚染容器及び包装：	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

## 1 4. 輸送上の注意

国連分類：	8 (腐食性物質)
国連番号：	2967
品名：	SULPHAMIC ACID, mixture
容器等級：	III
海洋汚染物質：	非該当
注意事項：	輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

## 1 5. 適用法令

毒物及び劇物取締法：	非該当
化学物質管理促進法：	非該当
労働安全衛生法：	非該当
船舶安全法 (危規則)：	腐食性物質 (スルファミン酸)
航空法：	腐食性物質 (スルファミン酸)

## 16. その他の情報

### 引用文献

Lovibond Silica No.1 (Cat.No.00513139,513130,513131,513133) 2012.10.26

13901の化学商品 化学工業日報社

化学物質安全情報 研究会編 オーム社

化学大辞典 東京化学同人

関東化学株式会社 製品安全データシート (アミド硫酸)

和光純薬工業株式会社 製品安全データシート (アミド硫酸)

安全衛生情報センター <http://www.jaish.gr.jp/>

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 <http://www.nite.go.jp/>

この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の実験を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。